

大陸からの襲来と幕府の戦い

学習日 月 日

点

1 次の文章を読んで、あとの各問いに答えなさい。

13世紀の初め、遊牧民の勢力を統一した（ A ）は、広大な帝国を築いた。その子孫は領土を東ヨーロッパにまで広げ、ユーラシア大陸の東西にまたがる大帝国となった。5代目の皇帝は、都を大都（現在の北京）に移して中国風の国号を定め、1279年には中国全土を支配下に置いた。

① Aにあてはまる人物名と、Aが築いた帝国の名を、それぞれ答えなさい。

人物（ ） 帝国（ ）

② 5代目の皇帝の名と、その皇帝が定めた国号を、それぞれ答えなさい。

皇帝（ ） 国号（ ）

③ 大陸の東西にまたがる大帝国ができたことで、世界にどのような変化が起きたか。「移動」「交流」の語を使って書きなさい。

（ ）

④ 5代目の皇帝に仕え、帰国後に日本を「黄金の国」として紹介したイタリアの商人を答えなさい。

（ ）

2 右の図を見て、あとの各問いに答えなさい。

5代目の皇帝は朝鮮半島の国を従えたのち、日本にも従うよう使者を送ったが、執権の（ A ）はこれに応じなかった。1274年、大軍が博多湾に上陸し、幕府軍を苦しめたのち引き上げた。幕府は次の襲来に備えて防備を固めた。



① Aにあてはまる人物名と、1274年の戦いの名を、それぞれ答えなさい。

人物（ ） 戦い（ ）

② 元が日本に攻めてくる前に従えた、朝鮮半島の国を答えなさい。

（ ）

③ 元軍が幕府軍を苦しめた戦い方の特徴を、「集団」「火薬」の語を使って書きなさい。

（ ）

④ 図中のa～dのうち、元軍が上陸した博多の位置を選びなさい。また、幕府が博多湾岸に築いた防備を答えなさい。

位置（ ） 防備（ ）

⑤ 1281年の2度目の襲来を何の役というか。また、2度の襲来をあわせて何というか。

2度目（ ） あわせて（ ）

解答

1

- ① 人物 チンギス・ハン 帝国 モンゴル帝国
- ② 皇帝 フビライ・ハン 国号 元
- ③ 東西の移動がしやすくなり、人やものの交流がさかんになった。
- ④ マルコ・ポーロ

2

- ① 人物 北条時宗 戦い 文永の役
- ② 高麗
- ③ 集団で攻める戦法をとり、火薬を使った武器を用いた。
- ④ 位置 d 防備 石の防壁（防塁）
- ⑤ 2度目 弘安の役 あわせて 元寇